

# 食と農林水産業の地域ブランド確立に向けて パネルディスカッション

～ 主催：農林水産省 ～

参加無料

現在、各地域において、地域の農林水産業、食品産業の競争力強化や地域活性化につなげていこうとの観点から、地域ブランド化の取組が進められています。

このような農林水産物、地域食品の地域ブランド化に取り組む主体や地域ブランド化を支援する者が広く参集し、相互に情報の交換や提供、交流等を実施するための「食と農林水産業の地域ブランド協議会」を設立することとしています。

今回のパネルディスカッションは、その設立総会と併せて、その記念行事として、「農林水産物・地域食品の地域ブランド確立への課題」をテーマとして開催します。

日時 2007年11月21日(水) 16:00～18:00

場所 農林水産省 本館7F 講堂

## プログラム

設立総会 (15:00～16:00)

協議会の規約の決定、会長の選任、会長の挨拶、農林水産省の挨拶等  
総会は協議会の会員を対象とします。

パネルディスカッション (16:00～18:00)

テーマ：「農林水産物・地域食品の地域ブランド確立への課題」

コーディネーター：

金子和夫氏((株)日本総合研究所上席主任研究員、協議会発起人)

パネリスト：

東谷望史氏(馬路村農業協同組合代表理事組合長)

井口義朗氏(三ヶ日町農業協同組合営農センター部長)

宮本 修氏(東京青果(株)常務取締役)

白田典子氏((有)良品工房代表取締役)

参考 URL：協議会関係資料、協議会参加申込書等を掲載しています。

[http://www.maff.go.jp/www/council/council\\_cont/seisan/titekizaisan/brand\\_conference/index.html](http://www.maff.go.jp/www/council/council_cont/seisan/titekizaisan/brand_conference/index.html)

# コーディネーター

## 金子和夫（かねこかずお）氏（(株)日本総合研究所 上席主任研究員）

昭和27年愛知県生まれ。昭和51年からファッションビジネスに従事し、昭和63年(株)日本総合研究所に入社。マーケティングの手法から、地域ブランドのプロジェクト等に多数取り組む。農林水産省知的財産戦略本部専門家会議委員、食と農林水産業の地域ブランド全国協議会発起人を務めるほか、経済産業省地域中小企業サポーター、国土交通省地域振興アドバイザー、独立行政法人中小企業基盤整備機構地域資源活用アドバイザー等を務める。

# パネリスト

## 東谷望史（とうたにもちふみ）氏（馬路村農業協同組合代表理事組合長）

昭和27年高知県馬路村生まれ。昭和48年馬路村農協に入り、営農販売課長、生産加工課長、代表理事専務等を歴任し、平成18年代表理事組合長。ゆず飲料「ごっくん馬路村」やポン酢しょうゆ「ゆずの村」といった特産品と村のまるごとブランド化に取り組む。平成17年「観光カリスマ百選」に選定。

## 井口義朗（いぐちよしあき）氏（三ヶ日町農業協同組合営農センター部長）

昭和34年静岡県三ヶ日町生まれ。昭和54年三ヶ日町農協に入り、柑橘課長、生産資材課長等を歴任して、平成17年現職。東京市場や名古屋市場で有名な「三ヶ日みかん」のブランド確立に向けて安定生産・高品質化に取り組むとともに、平成13年東洋一の選果場の建設とマッピングシステムの立ち上げを行う。平成19年に地域団体商標「三ヶ日みかん」を登録。

## 宮本修（みやもとおさむ）氏（東京青果(株)常務取締役）

昭和22年京都府京都市生まれ。昭和45年東京青果(株)に入社し、野菜第一事業部部長等を歴任して、平成17年常務取締役・野菜事業本部長・個性園芸事業部担当。個性園芸事業部では各産地のこだわり青果物の販売を推進し、また、食農活性化推進室では青果物の需要拡大活動推進、地方野菜の掘り起こしを実施している。

## 白田典子（はくたのりこ）氏（(有)良品工房代表取締役）

平成6年(有)良品工房を設立。食品流通の現場を初めて経験し、「消費者不在」を痛感。平成11年より、作り手・売り手・買い手をつなげる活動「いいものプロジェクト( )」を推進している。

「いいものプロジェクト」:使った人が太鼓判!「みんながえらんだいいもの」に加え、平成18年より、食べたいものをつくって!「みんなで作ったいいもの」、買い物が世の中を変える!「みんなでそだてるいいもの」の取組みも開始。